

～自然あふれる里山で史跡を巡るハイキングを！～ 「豊能町」

大阪の北部に位置する豊能町は自然豊かなところですが、大阪みどり百選に選定されている能勢妙見山や初谷溪谷があり、四季折々に趣をかえる初谷川周辺では野鳥探索と自生する約450種類の草花がおりなす風情が楽しめます。豊能周辺には沢山の石造物が残されており、石仏の里と言われています。町内随所に残る石仏や磨崖仏（自然そのまの岸壁や露岩に直接彫りくぼめ造立された仏像）の多くは1500年代に集中して造立されたそうです。

右は町東部の余野地区にある余野十三仏（多尊石仏）で永禄7年（1564）造立。表裏に各20体の仏像が刻まれています。室町時代末期に混乱した世の中を憂い、生きているうちに法事を修めて死後の極楽往生を願うという「逆修信仰」が広まり、多くの多尊石仏がこの時代に造立されました。また、町南部高山地区は織田信長や豊臣秀吉にも仕え、キリシタン大名でも有名



余野十三仏

な高山右近の生誕地です。今年1月、高山右近はローマ法王から福者（カトリックで「聖人」に次ぐ崇敬の対象）に認定されました。高山地区右近の郷には右近と志野夫妻の石碑が建立されています。



高山右近生誕地碑



右近夫妻碑

このような歴史と自然豊かな豊能町に足を運び、石仏と史跡を巡るハイキングコース（豊能町観光冊子に11コース紹介）を、いにしえ人に思いを馳せながら散策されては如何でしょうか。

豊能町観光協会 電話：072-739-3424 ホームページ：<http://www.toyokan.net/>
豊能1地区委員 竹内清彦（記）